

必要な時に使えるの???

2004年10月



目に見える**隠れた危険!** この写真がどこのものかは知らない、しかし重要なメッセージを伝えるために用いられていると思う。時々、危険は目の前にあるのに、危険がどのような状態なのか見えていない・・・**なぜならあまりにも明白だから!** この場合以下のことは不可能であろう;

- 1) 素早くバルブに近づいて、
- 2) 緊急時にバルブを操作すること。

日常の仕事を行うときに、この写真を思い出して、

同じように設備の中に隠れている明白な危険をさがすこと。

- 👉 鎖と二本の枝がバルブ操作をできなくしている。バルブとハンドルが赤く塗られているのは消火設備の一部であることを—通常は緊急時にかなり重要な設備であることを気づかせる。緊急時にこのバルブに近づくのは難しいであろう、そして、何年間も回されていないことはかなり明白である。この設備には定期的な緊急システムのテスト計画は無いに違いない。**仕事がこのバルブを開けたり閉めたりすることであったら、あなたはどうか?**
- 👉 これは操作できない緊急システムの典型的な例である。設備の中には、近づくことさえできないバルブや他の機器があるかもしれない。必要になるまで、めったに使われないので存在に気が付かず、忘れられがちだ。**それらは設備のどこにあるだろうか?**
- 👉 機器の重要な部品に近づき操作できることは、全ての工業において今日のプロセスおよび製造操作に重要なことである。それがバルブであれ、電気の押しボタンであれ、現場の温度計・圧力計がはっきりと見えることであれ、違いはない。**必要なときに、思ったように近づいたり、使えたり出来ないならば、それはハザードである—そして時には目に見える 隠れた危険である。作業場にこのような目に見える隠れた危険はないだろうか?**
- 👉 次に、設備で近づくのが困難な状況に出くわしたり、設備の機器操作について気になることがあれば、管理者や部門・地区の安全委員会とそのことについて話し合うこと。

見せかけを見抜き、隠れた危険を見つけ出すこと。